



チーム再起動 代表 加古ときはる

住所 高砂市曾根町764 電話/FAX 079- 448-1981

E-mail: takasagosaikido@yahoo.co.jp

HP: <http://www.geocities.jp/takasagosaikido/>

ブログ: <http://blog.livedoor.jp/takasagosaikido/> 2008.3.26

第2号

こうすれば  
高砂は  
変わる！

○1期4年、強いリーダーシップと不退転の決意で実行

= 結果はすべて3年で出す！ =

○3年で市民病院の赤字半減 単年度赤字10億→5億円へ減らす

○3年で総額15億円の人件費削減

## 提言その2 市民病院の赤字半減

## 市民病院の赤字を5億円に

### ■つぶすにもお金がかかる！単年度赤字を減らし、今までの借金は市本体で返済

市民病院の赤字に対して「そんなに赤字ならつぶしてしまえばいい」という乱暴な意見を聞きます。副市長も明らかにその路線です。その証拠に「お金を入れずに放置して21年度に財政再建団体に転落する」ことを「選択肢」と議会で言い切り、物議をかもししています。

しかし、あまり知られていませんが市民病院をつぶすにもお金がかかります。今は入院350床レベルに合わせて採用を続けており、水ぶくれ状態です。（実際には2月で50%を切る165床）この職員がいつせいに退職する時のお金や施設廃止のお金、今までの累積借金を考えると**最低70億円**は一度に必要です。私たちは「**今までの借金は市本体で7年がかりで面倒を見る**」「**赤字を減らし、人員を減らして規模縮小していく**」という大きな骨太の方針を提言します。

ただし、市民に信頼される病院になるために優秀な医師を確保することは当然です。市のトップはもっと全国を飛び回って医師や病院管理者確保につとめるべきです。

病院経営に経営の責任者が不在であること。トップに交渉能力がないことが赤字拡大が止まらない最大の問題です。

## ゼロから交渉術で企業を成長させた

プロフィールは次ページに

代表 加古ときはる

私は31歳の時に高砂市で起業しました。金も人材もない中で、持ち前の努力と交渉術で企業を成長させてきました。企業立ち上げの時にアシックス（当時オニヅカ）の工場長（後に社長）に「仕事を下さい」と営業に行きました。ほとんど飛び込み状態でした。何度も通う私に根負けしたのか工場長は「登山靴を100足、3日以内に納品しろ」と言われました。私を試したのだと思います。

全くノウハウもなく、社員と悪銭苦闘して3日徹夜しながら作りあげ、納品しました。会社は品質を見て、委託契約に成功しました。

41歳の時には海外メーカーとの交渉を試みました。アメリカの大手メーカー「O'NEILL」への納品について、トップと通訳もなしに単身でロサンゼルスまで直談判。私は自慢ではないですが英語はほとんどしゃべれません。数字をひたすら並べて、商品を見せて品質を強調しました。2日の交渉の末、相手は納得。「ヨーロッパの品質より高い」と評価してくれました。

相手のふところに飛び込み、最初は100%以上を要求して、お互いの妥協をはかりつつ「落としどころ」を探る。この民間で鍛え上げた交渉術を**3年でいいから発揮させてほしい！**

今週の代表の駅前活動 いずれも7時～8時（他の地域でも仲間が配布しています）

26（水） JR宝殿 27（木） 伊保 28（金） JR曾根 31（月） 山陽曾根 4/1（火） 高砂

代表の加古が重点政策として掲げる5つの分野に市民から1000の提言を受け付けます。

[子ども]子どもが微笑む/[お役所改造]市民に役立つ所へ/[産業振興]ものづくり高砂/

[環境・安全]住み続けたい街「高砂」に/[高齢者]生涯現役 高齢者が元気な高砂

=分野の新設も募集中=

■ 提言0003 災害弱者（高齢者、障がい者など）は地域と行政で支える 【環境・安全】

小さな座談会での提言です。

☑ 自分の住んでいる地域では高齢者が増加している。また、障がいを持っている子どもの家庭などもいる。自治体の寄り合いでも災害の際の避難などを話しあうのだが、いつも不安を抱えて帰ることになる。ぜひマニフェストに災害弱者の視点を入れて欲しい。

これについて、加古代表からの回答です。

🔴 ハザードマップ（災害の際にどこに避難するかなどを記したもの）の配布をすることはすでに決まっています。問題はこれを活用して、丁寧に実質的な災害時の避難シミュレーションを行うことが必要です。

曾根のみなさんは昭和51年の曾根地区を襲った水害を覚えてられると思います。私の会社も水害に見舞われて工場が被害を受けて2億円の損害を受けました。災害の恐ろしさ、そして復旧に向けた苦しさは人一番わかっているつもりです。

ましてや独り身の高齢者や障がいの家族を持った方の不安は大変なものと思われま。自治体単位で台風の季節の前に災害シミュレーションをする、震災体験者のお話を聞くなど災害に備える心構え。そしていざという時に「災害弱者」が逃げ遅れないように地域ぐるみで応援する体制づくり、そこへの行政支援などが必要です。

私たちはみなさんから寄せられた声に対して、ニュースやウェブ上で「回答」をきちんと行います。高砂再起動のブログやメールまでみなさんの声をお寄せ下さい

ブログ：<http://blog.livedoor.jp/takasagosaikido/> メール [takasagosaikido@yahoo.co.jp](mailto:takasagosaikido@yahoo.co.jp)

**1000の政策提言のために マニフェスト勉強会 予定** いずれも7時～（一部をのぞく）

内容：代表 加古のお話/大内秀夫（元市長）などゲスト/市民でつくる1000の政策提言

3月27日（木）伊保西部自治会館 28日（金）高砂十輪寺

29日（土）2時～生石研修センター 29日（土）蓮池自治会館

31日（月）阿弥陀東自治会館（予定）

4月1日（火）神爪自治会館 2日（水）梅井自治会館/高須自治会館

3日（木）牛谷自治会館 4日（金）曾根神社会館

■問い合わせは  
チーム再起動  
事務所  
**448-1981**  
まで

■プロフィール 加古ときはる（元高砂市議会議員）

高砂市曾根町生まれ。曾根小学校、松陽中学校、加古川東高校をへて会社員へ。31歳の時に特殊履物メーカーを起業。世界中を飛び回り営業し、不況や水害などの苦しい時期を乗り越え、地域の中堅企業に成長させる。

「日本の伝統的な匠を基調としたタビ」開発などユニークなものづくりはNHK「ぐるっと関西」にも取り上げられる。

ラブホテル建設反対運動に取り組んだPTA活動をきっかけに高砂市議会議員になり、以後6期24年活動。民間企業経営の視点から財政問題、行財政改革提言を得意分野とする。市議会議員も2度経験し、大内/田村両市長時代には混乱する議会をまとめあげ、その実力を評価された。

趣味は歴史。興味がこうじて現在、姫路獨協大学の聴講生。